

## 2023年2月19日 埼玉支部委員会 来賓あいさつ 概略

### 丹羽宝宏 さいたま市市議会議員候補

お世話になります。UA ゼンセン埼玉県支部の書記局でございます丹羽と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。今回さいたま市議会議員選挙に挑戦をする事になりまして NCCU の皆さん針谷総支部長におかれましても大変応援をいただいております。ありがとうございます。私も今 UA ゼンセンの職員として労働組合のサポート役を務めておりますけれども、やはり給料を上げていかなければならないということと、働きやすい環境を進めるためにも、皆様の声を反映させる、そういった政治を進めていかなければならないなというふうに考えております。私はいま国民民主党に所属をしていますが、先日の通常国会開会の時に行われた代表質問でも玉木代表、そして大塚代表代行においては代表質問の中でやはり給料あげるという事を、実現して行きたいという代表質問をさせていただいております。やはり所得を上げて働きやすい、そして住みやすい街づくりをしていかなければならないと言うことで、国も総力を挙げて対応して行くと言うことを認識しているところでございます。その中でやはり問題になっているのは、介護従事者の方々に対する対応でございます。私も聞いている限りではやはり夜間におけるワンオペの問題または医療従事者に対する問題など様々な問題があると思っております。そういった問題を皆さまからいただきながら取り組んでいかなければならないなというふうに考え、今回立候補することを決意させていただきました。おひとりおひとりの声を聞き、働きやすい、そして住みやすい街づくりを地方議会から取り組んで参りますので、是非応援の方、よろしくお願ひして、わたくしの方からのご挨拶にさせていただきたいと思っております。

### 水村あつひろ 埼玉県議会議員

ご紹介いただきました。UA ゼンセン準組織内の県議会議員、そして地元は選挙区が所沢市になりますけれども、水村あつひろと申します。今日は NCCU さんの貴重な会議の時間をいただきまして、ありがとうございます。また、日ごろは本当に針谷総支部長をはじめと致しまして、NCCU の皆様にはいろんなご要望いただきまして、また前回の選挙の時も何回も所沢にお越しいただきまして大変ありがとうございました。先ほどチャットの方で資料のリンクを送らせていただきました（以下、水村議員より提供された資料のリンク）

※下記 URL をクリックすると全て埼玉県のホームページへ遷移します。

◆令和元年6月定例会 一般質問 質疑質問・答弁全文 介護職員を守り人材を確保するための介護ハラスメント対策について（水村篤弘議員）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-gaiyou/r0106/c040.html>

◆さいたま介護ねっと

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/kaigo-net/index.html>

◆高齢者施設等光熱費等高騰対策支援事業補助金について 光熱費や食材料費の高騰に直面する県内の高齢者施設等を支援することを目的として、補助金を交付します。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/koutouhojo/kounetsuhitouhojo.html>

◆在宅医療・介護の現場における暴力・ハラスメント対策の実態に関するアンケート結果について

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/217976/zaitakukagoannke-to.pdf>

◆在宅医療機関や介護事業所等向け暴力・ハラスメント等に関する専用相談窓口を開設します

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/news/page/news2022113001.html>

本当に NCCU の皆様とはこの 3 年間はコロナということで、なかなか会議の機会もなかったんですけども、それ以前は本当に定期的に会議をさせていただきまして、いろんなご要望をお寄せいただきました。今日送らせて頂いた資料の一番上ご覧をいただきたいと思うんですけども。実は令和元年の 6 月の県議会、今の任期の始まった直後に県議会の本会議でわたくし一般質問をさせていただきまして、その時のタイトルが「介護職員を守り、人材を確保するための介護ハラスメント対策について」ということで質問させていただきました。このときは日本介護クラフトユニオンというお名前を実際に本会議の中で発言させていただきました。NCCU さんが実施したアンケートによればということで、回答者の 74%がセクハラまたはパワハラを受けたと回答していますといったアンケート結果を紹介させていただきました。埼玉県でもハラスメント対策を緊急にやるべきじゃないかと言うことで提案をさせていただきました。その後の取り組みにつきましては、徐々に埼玉県でもハラスメント対策が普及してきたかなというふうに思っております。詳しくはまた後ほど、新聞記事と合わせてお話をさせていただこうと思っております。あと選挙の関係ですけれども、わたくし 4 月に 4 回目の県議会議員選挙挑戦をさせていただきます。今着々と準備をさせていただいておりますけれども、所沢選挙区本当に激戦なんですね、わたくしも厳しい戦いになると覚悟しております。精一杯頑張るってなんとしてでも当選をして、また引き続き皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。ご要望いただいております新聞記事についてお話をさせていただきたいと思っております。お話をいただきましたのは、今年の 2 月 10 日発行のシルバー産業新聞。ここに埼玉県の職員さん、龍前さんという方が取材に応じておられまして、在宅介護従事者をハラスメントから守る相談窓口設置や複数訪問費補助、こういうタイトルの記事がありまして。まず、この新聞の記事になった経緯ですけれども、実はこの記事の中にもありますけれども、昨年 9 月の補正予算で 2 億円を計上して相談窓口を設置したり、あるいは介護職員ハラスメント対策推進事業、こういったものを始めたんですね。その相談窓口が昨年 12 月 1 日に開設をされるということで、実は、この龍前さんという主幹の方が 11 月 30 日に記者会見をしました。今日送らせていただいたリンクの一番下のところですね、相談窓口を開設します。こういうような記者会見、また

プレスリリースがありまして、これをご覧になったこのシルバー産業新聞の記者の方が取材をされたということです。どうしてこの9月にこうした予算を可決したのかと申しますと。まだご記憶にあるかと思いますが、去年の1月に埼玉県ふじみ野市というところで患者家族が担当医である訪問診療医ひとりに散弾銃を発砲し死亡させるという事件がありました。まあ非常にショッキングな事件でしたね。この時犠牲になられたのはお医者さんということですが、介護の現場で働いておられる方もやっぱり、訪問介護等で非常にハラスメント、あるいはもっと過激なこういう事件に巻き込まれる可能性も高いということで、こういうような予算を埼玉県で可決をさせていただきました。この事件のときは、一人で訪問したということですが、介護訪問等においても、できればやっぱり複数人での訪問が望ましいということで。訪問費の補助をすることで、介護利用者の方、やっぱり負担は求められないということで、その分を県が補助をして、どうしても事業者側も、一割は負担をしなければいけないということですが、こういうような独自の補助制度を決めさせていただきました。相談窓口は先ほど送らせていただいたリンクの下ですね。そちらの方ですでに解説済みです。そしてもう一点は安全対策の取り組みに対する費用の補助ということで、例えば警備会社による屋外用セキュリティサービスの導入経費。これは初期費用のみということですが、これを埼玉県の方で補助をさせていただきます。あとは在宅医療介護従事者の安全への啓発の実施ということで、これもパンフレット等を作って啓発を行うということです。ぜひこういったものを活用していただきまして、本当にエッセンシャルワーカーと言われる皆様、コロナ禍の中でも先頭に立ってご活躍をいただきましたので、安全が確保できるように引き続きわたくしも取り組んでいきたいと思っております。そしてもう一つ事前にご質問いただいていたのが私のこういうチラシですね。去年の11月に発行させていただいたケアラー特集号というチラシです。実は埼玉県は毎年11月をケアラー月間というふうにしておりまして、こういうチラシを作成させていただきました。このチラシの裏面のこの部分ですね。福祉施設等の運営継続に対する支援。予算も去年の9月に可決をさせていただきました。保障内容、主なもの、高齢者施設入所12,000円定員一名に対してということですが、実はこのときは去年の春から、急激に原油価格が高騰して光熱費も高騰しているということで、その高騰に対する補助ということで、予算を可決させていただきました。本来であれば、この予算10月の14日に県議会終わりました、すぐ皆様に周知をして申請をしていただくという運びになるんですけども、実はこの申請が始まったのが今年の2月の1日からです。どうして遅くなったかと言いますとすでに10月に予算を可決した段階で、実はその後食材費も保障しなければいけないという状況になりまして、12月議会では今度は福祉施設の運営に対して食料品の値上がりに対しても補助をしましょうということになりました。この光熱費の高騰に対する補助と食料費に対する補助。これを一緒に申請をしていただくということで、少し申請開始時期が遅くなりましたけれども、2月の1日からで、今月末までですね、2月の28日までということで、おそらく皆様もこの情報をチェックして頂いて、申請手続き初めておられると思いますが、ぜひこれについても申請をしていただきたいと言うふうに思っております。おそらく皆様、ご承知だと思いますが、こうした情報につきましては埼玉介護ネット、今日のリンクの方にも貼らせていただきましたけれども、そこで情報告知をしておりますので、こういったところ、ぜひご覧を頂いて、受けられる補助はしっかりと受けていただきたいなというふうに思っております。

ます。本当にコロナ禍でも3年間頑張っていた皆様には心から感謝を申し上げますとともに引き続き介護の現場でご活躍いただきますようご祈念申し上げます、わたくしからの活動報告、また決意表明、そして本日の資料の説明とさせていただきます。どうぞ引き続きよろしく願いたします。

## 山根ふみ子 埼玉県議会議員

みなさんこんにちは。いつもお世話になっております。県議会議員山根ふみ子でございます。本日は貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。私の活動報告ですけれども、皆さんにお支えしていただいて二期8年目を迎えております。その間にこのコロナの流行前だと、ざっくばらんな意見交換もさせていただいてきました。中でもいろんな取り組みをしてきましたけど、例えばケアマネさんが記載する書類が、市町村をまたぐと、同じ内容なのにまた書き直さなくちゃいけないということだったりとか、もっと簡素化できないかっていうようなご意見ご要望をいただいて、それを事あるごとに発言をさせて頂いてまいりました。まあ本当少しずつなんですけれども、例えば不要な印鑑を減らすとか。デジタル化するとか、改善がなされてきたとすることがあります。しかしながら、まだまだ改善点もあろうかと思っておりますので、また引き続き皆さんとこれからどうするのかっていうのを考えながら、一緒に取り組ませていただきたいと思います。また私、12月10日に父を亡くしまして、最後は自宅で看取ったんですけれども、私も仕事と介護の両立させなくちゃいけないということを体験して、政治家という立場なので、いろんな情報も入って来やすい環境にいます。なので、私は両立をさせて、なんて言うんですかね、そういう意気込みで、あのやったんですけど、なかなか無理で、介護と仕事の両立って散々たわわっているけれど、もう全然現実はそのではないんだなということをものあたりにいたしました。そこでまずはやはり介護を受ける側のサービスの充実っていうのは引き続き必要ですけれども、それを提供する側の、事業者の皆さんの処遇改善が一番、人材確保には必要だと思うんですけど、処遇改善というのは国の力が必要ですので、こちらは川合孝典さんなどと連携をさせていただきながら進めさせて頂くとして。あと負担の軽減っていうことは県でも取り組むことがあると思っておりますので、その点を皆さんにお伺いしながら進めて行きたいと思っております。それからもう一つがいわゆるケアラーになります。介護する側の家族に対する行政サービスっていうのが、さらなる充実が必要かと思っております。具体的な提案というのは、是非ですね、現場をよく知っていらっしゃる皆さんからのアドバイスも教えていただきたいと思います。何しろ私はここからの活動として、福祉と雇用、福祉は家庭内での福祉。家庭内でどのような変化があろうとも幸せを感じられる家庭生活。あとはそのためにはやっぱり安定した雇用と労働環境の改善が必要だと思っております。この雇用と福祉の充実っていうのを柱にして活動させていただきたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻を頂ければと思っております。一緒に県政改革を進めるため、ぜひ頑張らせていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いたします。本日は貴重な会議の時間をいただきまして。誠にありがとうございます。

以上